

丹後の環境を考える

エコライフ情報誌

# えこり

Vol. 7

できることから始めよう。

編集

NPO法人

エコネット丹後



写真・田村浩章（田村写真館）



神崎舟唄保存会会長  
後藤忠春氏  
（京丹後市久美浜町神崎）

## ～西はきのさき 東は宮津 中の入り江が久美の浜～

ここは久美浜湾の東に位置する京丹後市久美浜町神崎。

カンコと呼ばれる小型の木造船は全長7メートルもあるだろうか、前方で櫂を操り、後方では櫓を使い久美浜湾に漕ぎ出してゆく。兜山の向こうの町まで下肥えを取りに行くためだ。時には遠く城崎までも舟を出す。城崎までとなると距離は相当あるだろう、朝日に映える兜山に見送られて久美浜湾から日本海へとカンコを漕ぎ出す。

久美浜湾には舟の軌跡と舟唄がゆっくりと流れて行く。

きっと、明治よりずっと以前の頃から神崎ではこんな風景が見られたのではないだろうか。「神崎舟唄」は、そんな時代から神崎地区で唄い継がれている。神崎舟唄保存会会長 後藤忠春氏にお話を伺った。

「舟には直径2メートルほどの楕円形の“ハズ”と呼ばれる容器を積み、下肥えを入れて運んでいたようです」そのためこの舟唄は『こえとり節』としてこの地で唄い継がれるようになる。

櫂と櫓の呼吸を合わせるためなのか、自然と節が生まれた。「こぎ手によって次々と歌詞も増えて行っただけで、何番まであるのかわかりません」と後藤さん。

農作業にもカンコ舟は使われたそうだ。「湾の対岸の田んぼから稲を運ぶのにも使っていました。今思うと一隻で軽トラックにして3台分ぐらいは運んでましたね」

その後、田畑での農作業でも唄われていたが、最近ではだんだんと唄われることもなくなり、正確な節を知る人も少なくなった。そのため保存会では郷土民謡発表会で神崎舟唄を披露し、その様子をDVDに残す活動もされている。

舟唄には様々な歌詞が盛り込まれている。

山から吹き降ろす風、地形、暮らす人々。

ゆるやかに、しかししっかりと確かに次の世代へと伝えられてきた土地での暮らし。

「子どもの頃は毎日が楽しくて仕方なかった。毎日海で遊びましたよ。今から舟出してあげようか？」後藤さんに自宅すぐ裏の湾まで案内していただいた。

自然とは私達を守るものではなく、また「癒し」や「美しさ」だけを求めるものでもない、恐れや畏敬の念を感じ、ともに生きその中で暮らす心構えこそが必要なのだと、お話を伺いながら感じた。

海と暮らして来た人々が伝えてきた舟唄とともに、この美しい景色と地域を愛する心は受け継がれて行こう。

神崎舟唄（こえとり節）

ああ～ こわや恐ろしや 神崎沖はな  
あ～ 神崎沖はな  
高い権現さんの 吹き下ろしえ  
あ～ りゃんとこげ りゃんとこげ

ああ～ 石の離れに 小島の沖は  
あ～ 小島の沖は  
北東風もよう吹きゃ 西も吹くよ  
あ～ りゃんとこげ りゃんとこげ

ああ～ 飛沫にかすむ 日間の松原  
あ～ 日間の松原  
丹後浦にし 秋ふかし  
あ～ りゃんとこげ りゃんとこげ

神崎舟唄保存会連絡先

後藤忠春さん

TEL.0772-83-0656

## オーガニック畑の おしゃべりてんとうむし



オーガニック畑にはいろんな生き物が住んでいます。ミミズ、ハチ、てんとうむし、ダンゴ虫、ヤスデ、ゴミ虫、クモ、目に見えない微生物……。その数は、1グラムの土の中に10億以上ともいわれているのですよ。まるで命のゆりかご……。こんなゆりかごの中で野菜たちはすくすく成長してるのです。こんな命のゆりかごの中をすこしのぞいてみませんか？

### 第七話

#### 『いただきます』 ということ

私たちは、毎日毎食、いのちをいただいている、このことは一話から六話まででみなさんよくご理解のしていただいていることと思います。  
お茶碗の中のごはんは、田んぼで作られただけではありませんよね。  
お皿に盛られたおかずも畑や牧場で作られただけではありませんよね。  
山や森のいのち、川のいのち、海のいのち、そして田んぼ・畑のい

のちにはぐくまれて私たちの食卓にあがってきているのです。  
『いただきます』このことばは、食材のいのちをいただくというだけではありません。

山や森のいのち、川のいのち、海のいのち、そして田んぼ・畑のいのちに感謝の気持ちこめて、『いただきます』ということなのですよ。

すべてのいのちには自然の中で役割をもっています。  
目に見えないような小さいのちであっても自然の中では役割があるのです。  
道の片隅に咲く花、畑の雑草、家に入り込んでくる虫たちもみんなわたしたちとおなじ命！  
どんないのちも大切にしていあげてね、そしてぜひ声をかけてあげてくださいね。  
きっと返事がかえってきますよ。

### 希望のたね

希望のたねを一粒まく  
ゆっくりと、しっかりと大地に根を張り、  
太陽の光をあびて芽がのび、  
やがて希望の花が咲き、そして  
たくさんの希望のたねが実る

毎年くりかえす百姓の仕事がここにある。

これでおしまい。



梅本 修

有機JAS生産行程管理責任者  
1963年生まれ

1997年にサラリーマンを辞めて、農業の世界へ飛び込む。2004年、小学校や病院の給食食材に、危険な中国産野菜が多く使われていることにびっくり！それから有機農業を目指し、2007年に有機JASの認証を取得。一人でも多くの方に本当に健康な野菜を届けることが一番の幸せです。  
エコネット丹後 監事



## エコリなREPORT 丹後環境シンポジウム

私たちのふる里である丹後地域。海があり、山があり、田畑が広がる風景。一見、豊かに見えるこの風景を「いつまでも残したい。」「出来る事は無いだろうか。」、とお考えの方も多いと思います。今、丹後の子ども達は、様々な機会を通じて「環境」について学び、環境保全に取り組んでいます。こうした活動を伝え活動の輪を広げようと、丹後環境シンポジウムが開催されました。

第1部では、実際に漁師とし

て海で仕事をし、環境問題をはじめ地域で様々な活動にも取り組んでいる松尾省二さんが、「私たちの暮らしと海」と題して、一市民の視点から丹後の環境についてご自身の想いを語ってくれました。

第2部では、地元の三校の小学生達が活動報告をしました。京丹後市の大宮第三小学校から「守れ!ミクリビオトープ池」、与謝野町の岩屋小学校から「ギフトチョウのふしぎ」、府中小学校から「阿蘇海を守ろう」と題して、環境学習を通じて感じた事を、実際に海や山に入って調

べ、肌で感じた事をまとめて、発表してくれました。

第3部では、水戸黄門「亀を救った八兵衛さん」と題して、丹後の豊かな環境づくり応援ネットワークをはじめ有志による寸劇を通じた〇×クイズが行われました。

当日は、子どもたちの発表という事もあり、親子連れも多く、会場に集まった100余名の参加者達が生活に身近な丹後の環境について楽しく学ぶことのできた一日でした。

谷津 伸幸  
エコネット丹後 理事



## ポイ捨てゴミについて

今回は私たちの身近な環境問題である、「ポイ捨てゴミ」について考えてみたいと思います。

私は今年度からエコネット丹後理事として活動している「ポイ捨てゴミ問題担当」の川戸です。

エコネット丹後では、数年前から身近なこの問題に注目して、京丹後市商工会女性部丹後支部さんらの呼びかけで行われた立岩近辺の海岸清掃や、大宮町森本村づくり委員会さんが毎年行われている竹野川クリーン大作戦など地域の方々が行う清掃活動に参加協力させていただいています。

私自身も以前から路肩に散乱する、車から「ポイ捨て」された空き缶や、家庭ごみなどに「このゴミなんとかならんもんだろうか?」「この光景を見慣れて育つ地元の小さい子らが、どのように大きくなっていくだろうか?」と思っていました。

私と同じように道路脇のごみを見てそのように感じられた方も少なくないのではないのでしょうか?

市内でも一斉にポイ捨てゴミの回収を地区単位でしたり、不法投棄のひどい地域では行政から職員さんを派遣して対策に当たられているようです。でもやはり一番大切なことは一人一人が丹後の自然や、住みよいきれいな環境作りに想いを馳せて「ポイ捨て」しないことが何より大切ではないかと思います。

ゴミのない町づくりが美しい京丹後の自然を引き立て、より一層魅力的「まち」にしていくと共に、京丹後に愛着を持つ「人を育てる」ことにきっと役立つと思います。

京丹後には地域のためにと普段から時間をかけてゴミ拾いをされている方がおられると聞いています。本当に頭が下がる思いです。

そんな方達の想いにも応えるべく、「ポイ捨てゴミ」を出さない、また自分の身近なごみは拾うことを普段の生活から実践してい

きたいものですね。

私自身、以前は想いはあっても見て通り過ぎていくだけでしたが、今は少しずつゴミを拾うようしています。ほんの少しのゴミなら時間も掛からないし、後の気持ちもいいですよ。ほんの少しのゴミ拾いでもみんなでやればきっと素晴らしい効果が得られると思います。

これからだんだん暖かくなって、丹後を訪れる方も増えてくると思いますが、「丹後いうてきれいでいいとこだったな~!!」って言ってもらえるような、そんな「きれいなまち」にみんなですていけたらいいですね。

川戸 泰弘  
エコネット丹後 理事

## みんなで農業

入門・タケチャン農法

## ジャガイモ

ジャガイモって原産地は、中南米なんだぜ！そこからコロンブスがヨーロッパ・アメリカに伝えられその後、日本にもやってきたんだ。



野木 武  
タケチャンファーム  
主宰  
エコネット丹後  
理事長

ジャガイモは、わりとどんな土でも作れます。  
腐葉土中心でプランター底には排水の良い土のほうがよいでしょう。  
また、プランターは深いほうがよいでしょう。

1



植え付け時期は、3月の終わりと5月の初めです。  
食用ジャガイモより、種芋を用意しましょう。  
植え付け5日前にさい芽を進め種芋を切ります。  
男爵芋なら1個から4株できるように切ります。

2

切り口を下に並べる。  
上から5cmの土をかける。



プランターに20cmほど土を入れ、肥料はジャガイモ専用肥料もホームセンターにあります。チッソ：りん：カリ＝7：11：9の成分肥料を1株当たり一握り与えればよいでしょう。  
5cm深さに、種芋を植え付けてください。（プランター標準なら3株でしょう）

3



芽が出て20日後  
10cmぐらいの伏土

芽が出てきたら20日後に、土を10cmぐらい伏土しましょう。  
収穫は、植え付けから100日ぐらいです。  
葉が枯れたら収穫しましょう。  
ジャガイモは、「えき病」が出やすいです。農薬・殺虫剤といった化学薬品はありますが、木酢を使って予防していきましょう。

## エコモノめっけ

### 薪ストーブの巻



今年の冬は、あの猛暑がうすのように大雪が襲い、暖冬に慣れてしまった私は、「丹後は雪国だ」と思い出しました。しかし「春」と云えども、まだまだ寒い日が続きます。

さて、昔の家では囲炉裏やおくどさんが生活必需品で、あちこちの煙突からもくもくと白い煙が立ち上っていたことでしょう。すす臭く、天井や壁は黒く、火の不始末で火事・・・？ 不潔で危ないイメージを持つ人もあると思います。

今回紹介するのは、薪ストーブです。現代の薪ストーブは、清潔で、安全なものになっています。鋼材や鋳鉄で造られ、耐火ガラスで炎が見えるものもあります。

最近では薪が燃えている炎に空気を送って、2回、3回と更に燃や

し、燃焼効率を上げているストーブが多く、煙突から出る煙はほとんど見えません。つまり、完全燃焼しているということです。車のマフラーから出る排ガスを見てもわかるように、白い煙が立ち上っているのは、不完全燃焼なのです。一番大切なのは、ストーブ本体の性能を100%に発揮させるための、煙突なのです！

薪が燃えると、遠赤効果で体の芯から温まり、免疫力も高まります。エアコンや石油ストーブは部屋の空気を暖めますが、体を暖めるわけではありません。

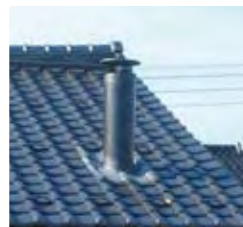
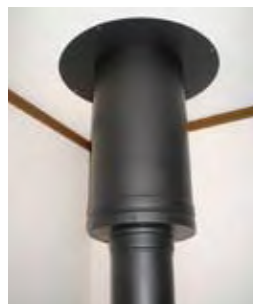
一度わが家へ薪ストーブの暖かさ、心地よさを体感しにお越しください。



鋼材製で頑丈な作りになっています。  
バルカン AD2800  
本体¥168,000～



北欧の薪ストーブは世界的に有名で、鋳鉄の歴史も古く、一生ものの商品です。  
モルソー 3410CB  
本体¥367,500～



本体からまっすぐ上に立ち上がり、屋根まで貫きます。そして煙突が冷えないように保温されているものを使用すると、上昇気流が維持できます。予算は高価になりますが、燃焼効果は絶大です。マフラーがつまった車は走らないのと同じ原理です。

環境創造アドバイザー  
松見 弘睦

京丹後市網野町網野571-1  
TEL.090-7343-1145  
アドレス mnnf1234@yahoo.co.jp

## イベントのご案内

### 「藤織り講習会」受講者募集

5月14日(土)～12月4日(日)〔年7講座・各1泊2日〕  
●会場：宮津市上世屋 世屋高原家族旅行村「しおぎり荘」  
藤織り伝承交流館(旧・世屋上分校)  
●講師：丹後藤織り保存会員  
●募集定員：20名(申し込み順・定員になり次第しめ切ります)  
※参加費等詳しくは、京都府立丹後郷土資料館内「藤織り講習会」係  
(宮津市宇国分 電話0772-27-0230)

このたび東日本一帯を襲った未曾有の巨大地震により、被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々にご遺族の皆さまに対し、深くお悔やみを申し上げます。

NPO法人 エコネット丹後